



俺の彼女は、
生徒会に
寝取られました。

オキナグサ

狂咲

43P



梓 あずさ
……



ニヒ

受信メール 0421
sino0204@socomo.ne.jp
10/26 16:03
16:30 生徒会室

ニヒ



彼女の裏の…

知らない顔で

声で

乱れていた
彼女を

見て…
聞いて…

本当の彼女かもしれない
顔を知ってしまった

彼女にとって
そこが

正しい居場所
なんじゃないかって

生徒会室

ガラッ…

望まなくして

準備室

彼女がそこに
至ったのだとしても

ここよりも
そこの方が

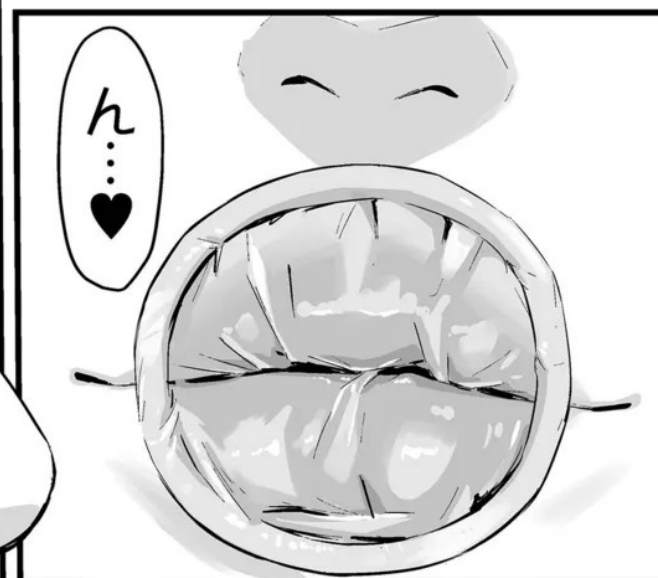
ふさわしいんじゃないかって…





















今日の梓…

あ…

髪とか？

そうだね



久しぶりだね…
翔太^{しょうた}とお昼食べるの



どっちの梓も
かわいいよっ

ツ!?

トリキッ♡



な懐かしいね

さっきトイレで
鏡見たとき
地味だなーって



だから

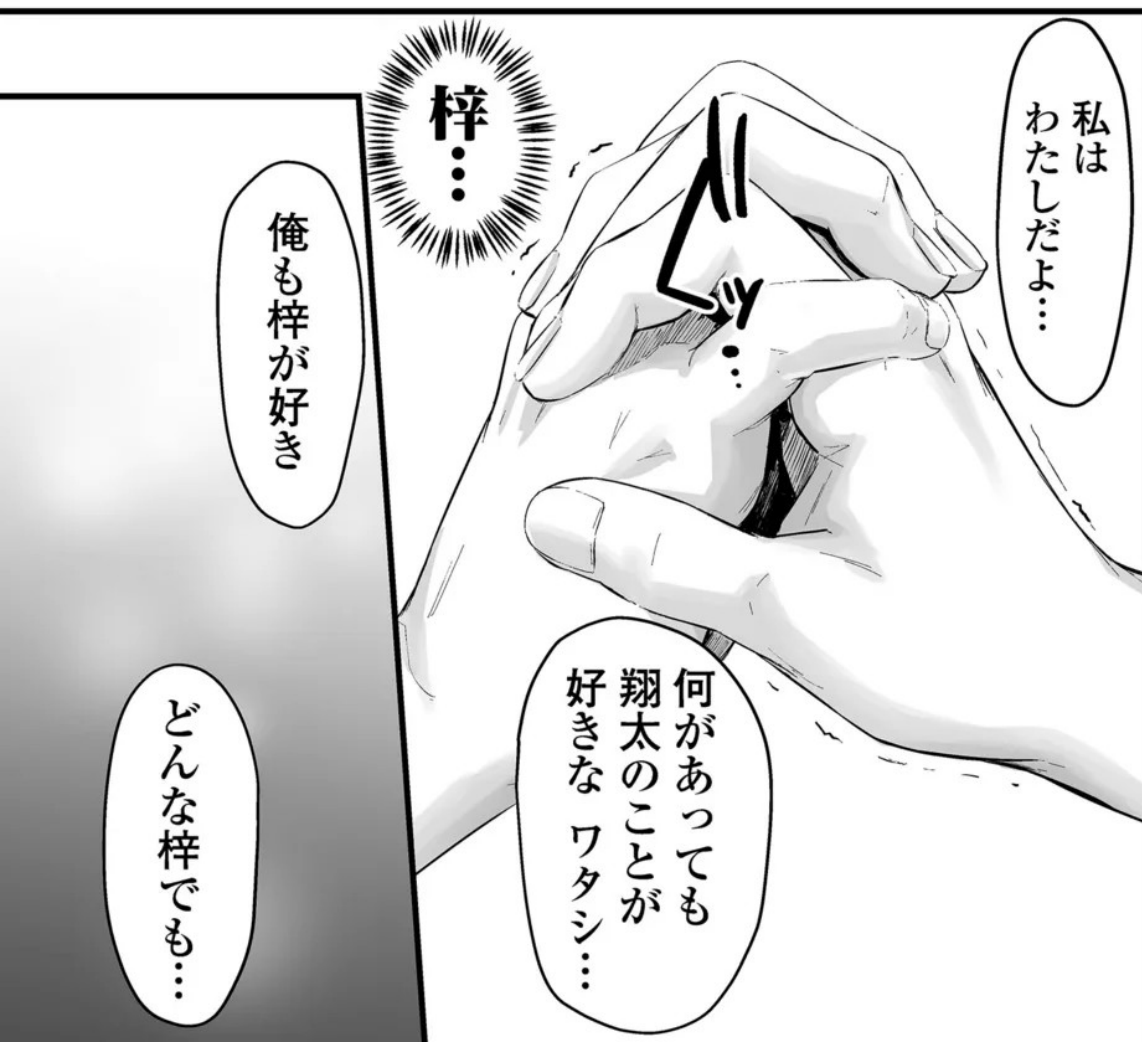
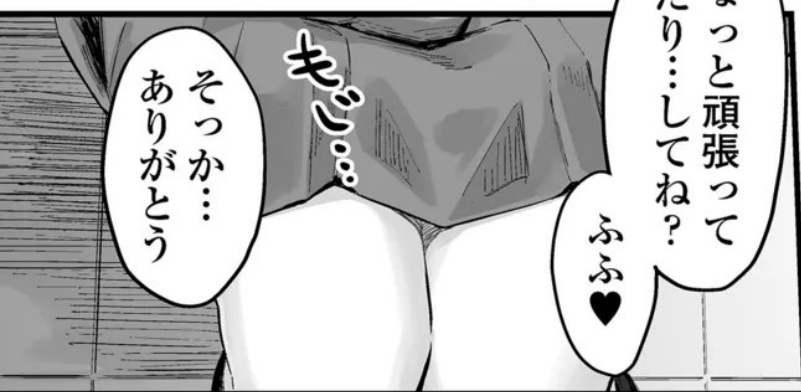
フッ



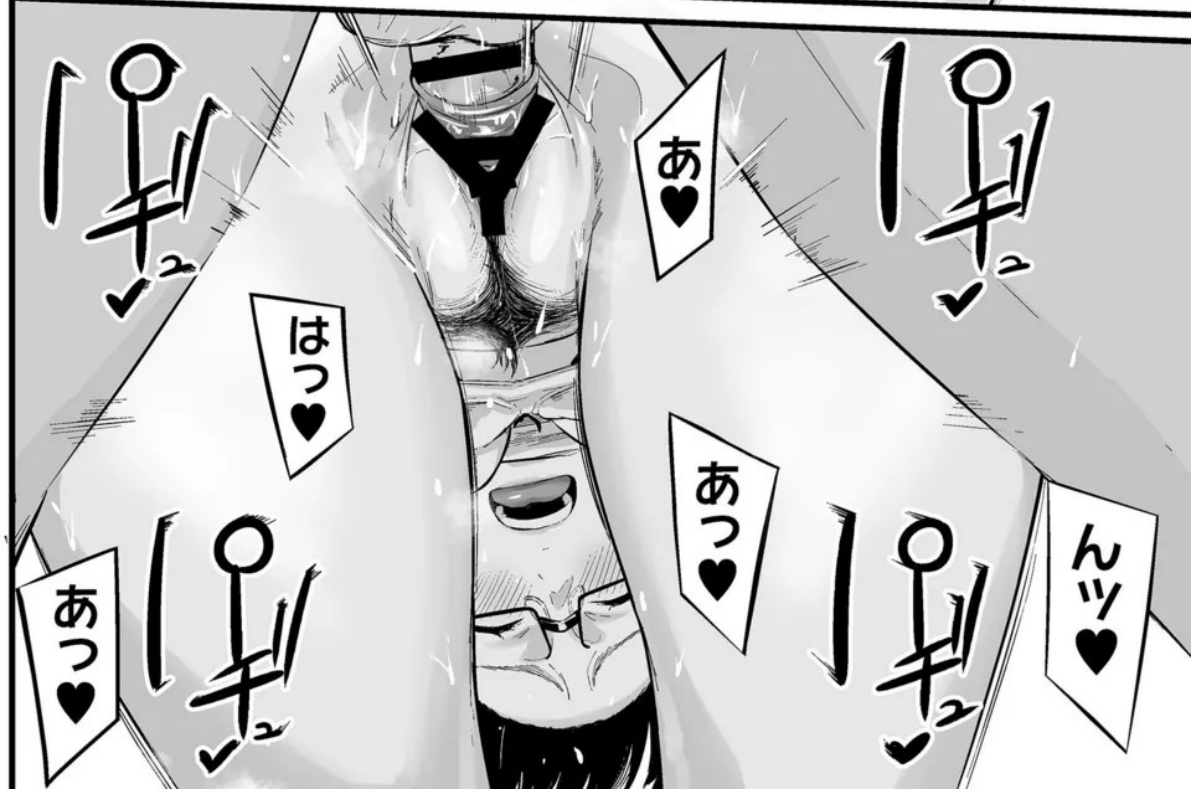
ずーっと
こんな風に

地味だったの
かもしれないって

そのッ私…
翔太と仲良くなつて
付き合わなかったら



準備室











無力なまま

月日は過ぎて

今日で僕はここから
いなくなるけど

三人なら上手く
やれるはず！

まあ何かあったら
相談乗るから

そんなに遠くに
行くわけじゃないし

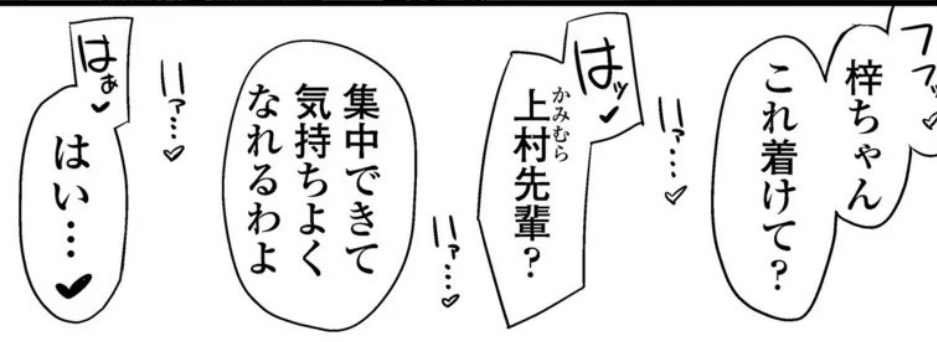
でも…

この場所で
みんなが
愉しめるのは
最後…

だから…

存分にね？

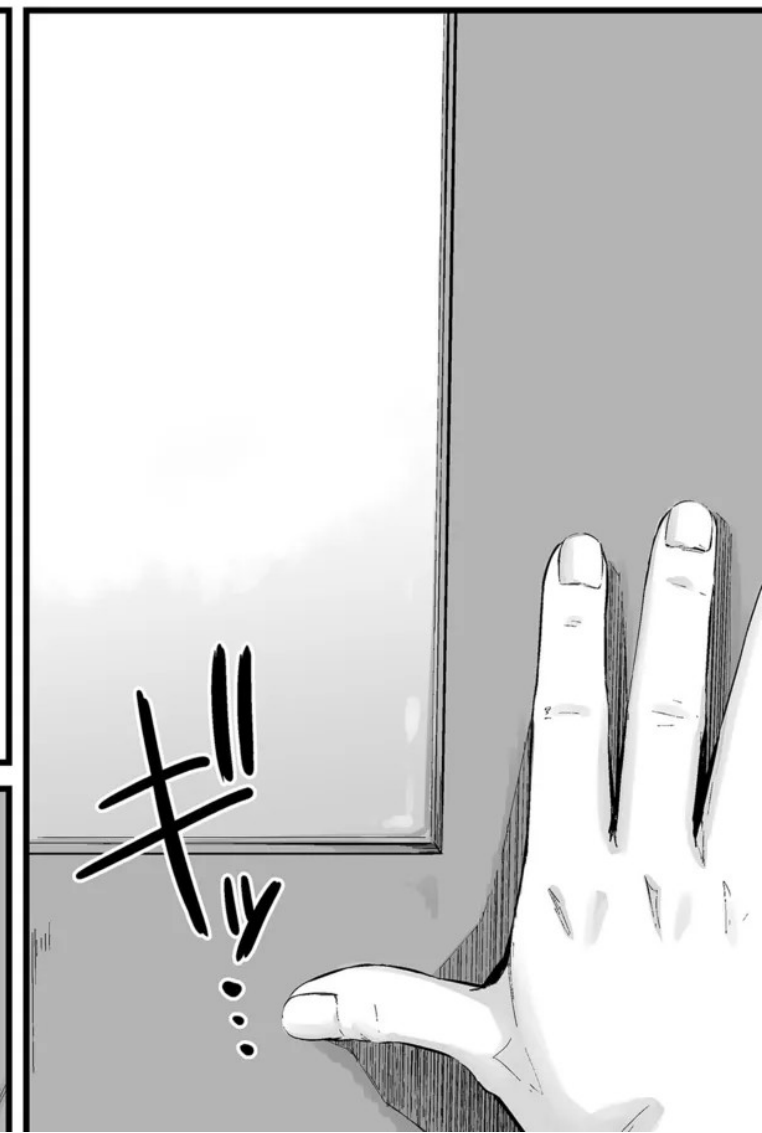
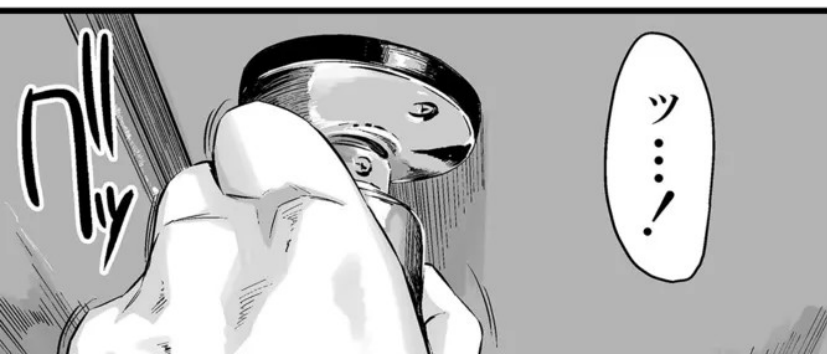








ツ
ツ
ツ





梓...

女
♡

はっ
♡

はっ
♡

女
♡

女
♡

はっ
♡

ふふ...♡

はっ
♡

んっ♡

ねっ
ねっ

ハッ

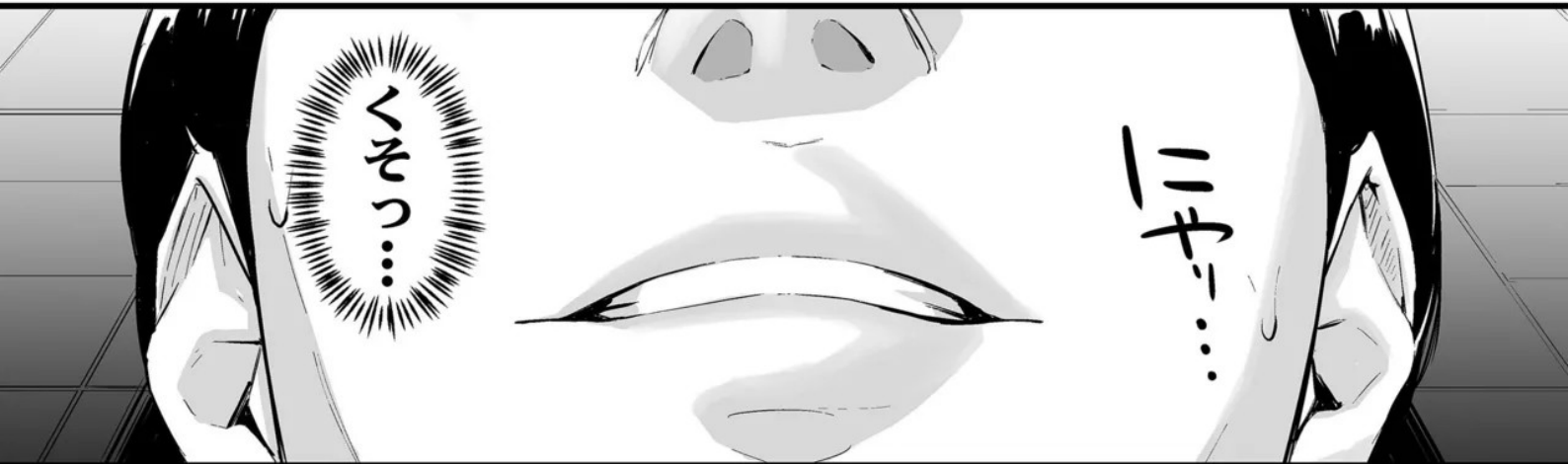
はっ
♡

はっ
♡

はっ
♡

はっ
♡

はっ
♡











乱れる梓が

今までは
ドア越し
だったけど

ほら梓ちゃん
見てなさい

……ッ

梓……っ

匂いと熱を
感じるほど
近くに……ッ



ふっ♡

んっ♡

はぁ

あッ

ん♡

はッ

はぁ





ねえ梓ちゃん

最後に聞きたいん
だけど…

はっ

今日までの活動
どうだった？

あえっ♡
急にッ

先輩達ッ

はっ♡

あッ♡

はっ
優しいな

気持ちよかったッ

ですッ♡

やっ♡りがい
あつて…

えっ♡

梓…!!?



それはっ
会長にやれぬの♡
気持ちよへて♡

彼のことは
好き？

生徒会ばっかで
彼氏には悪いこと
しちゃったかな？

悪い子にも
なっちゃったね
梓ちゃん

好き…ですっ

…あッ

痛い…梓…
こんな力入れてっ

だめだ
もうっ

かいちよっ♡

は♡

あ♡

ふッ♡



はあ♡

生徒会に入って

はっ♡

ふ♡

あ♡

ふっ

あっ♡

なってるなんて
思わなかった
だろうね...!

イクよッ!

梓ちゃんがッ
こんな風に

出るッ



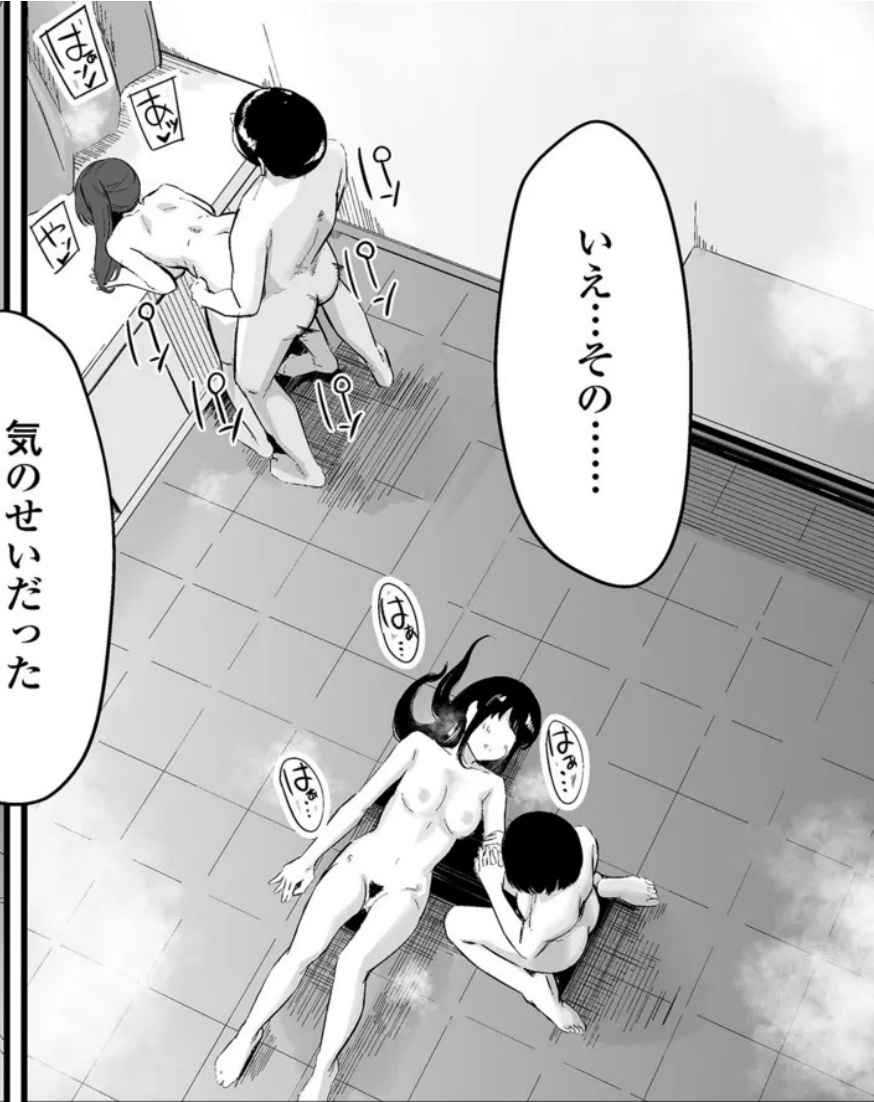
ごめんなさいッ
今日で最後...だから
あっ♡

梓...!
ごめんッ

うッ...!!



気のせいだった
みたいです



いえ…その…



俺はどんな梓でも
好きでいられると
わかって—

もしもし？
翔太？

その後…

うん…！

集合…ね？

明日…
昼には入学式
終わるから



そして
梓を狂わせたあいつは
卒業していった…

もう多分これで
全てが元通りで…



今？
今からは…

だけど…

上村先輩達と
明日の話し合い…

だよ？

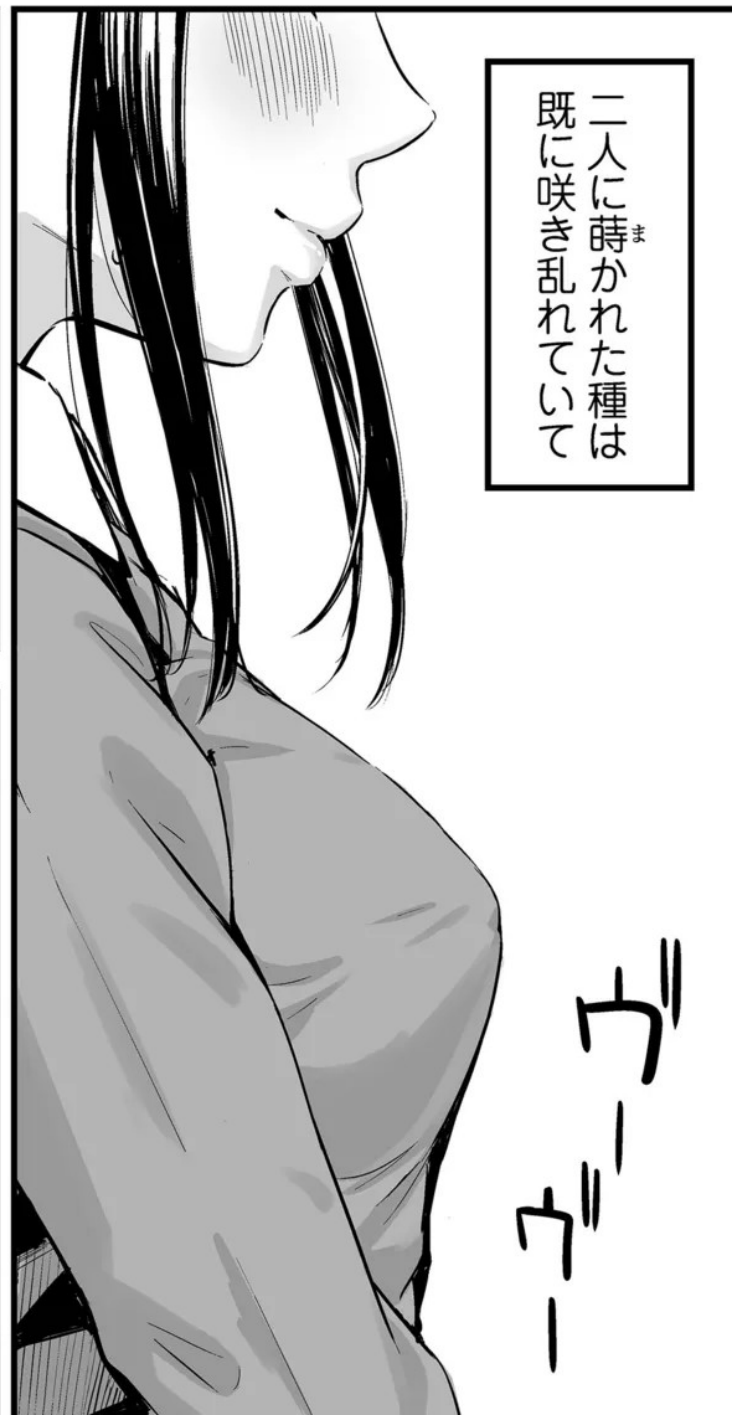
うん…
ありがとう

じゃあ…
明日ね



ガチャ…

お邪魔します…



二人に時^まかれた種は
既に咲き乱れていて

グー
グー
グー



ふふ♥
嘘つかれちゃった？



生徒会室

でも…

あなたも
あなたよね？

自分から
ここに

来ちゃう
なんて



狂わされていたのは
彼女だけじゃなくて

俺もまた――

“オキナグサ 狂咲”をお手に取ってくださり
ありがとうございます！
少しでも現実からトリップして
お楽しみいただけていれば幸いです……！

というわけで今作で
オキナグサのお話がひと区切り……、
ということで簡単に
あとがきのようなものを
書いてみている次第です。

本筋のお話は今作で区切りですが、
前日譚や合間の行事毎のお話等、
描きたいことがまだ残っているのも、
制作してどこかで発表できたらな
と思っています。（現在未定）

次回こちら(三崎さん)で
描かせていただく際には、
別の全く新しい作品になると思いますが、
その時はどうかまた
よろしくお願いします！

それではー！

でん
田スヶ

